

被服製作学習におけるアドバイス活動を導入した 小・中連携の試み

福良維素子*¹ 山口麻衣子*² 伊波富久美*³ 山村季代*⁴
岩見ミカ*² 篠原久枝*⁵

Attempt of Cooperative Education Between Primary Schools and Low Secondary Schools : Introduced Advice Activity in Clothing Production Learning

Isoko FUKURA* Maiko YAMAGUCHI** Fukumi IHA***
Toshiyo YAMAMURA**** Mika IWAMI** Hisae SHINOHARA*****

I. 研究課題

平成28年12月に示された中教審答申¹⁾においても学習指導要領改訂の方向性として、「義務教育9年間を通じて、子供たちに必要な資質・能力を確実に育むことを目指し、小・中学校間の連携の取組を充実させる。」ことが明記されている。宮崎県においても小中連携が進められているところであるが、家庭科教育においても連携の方法や内容について具体的な検討を行っていく必要がある。

宮崎大学ではこれまでに、附属小学校と附属中学校および学部での共同研究として、小中連携教育を推進し、家庭科部会においても平成23年度から現在まで、小・中学校ごとに各分野の題材配列の検討^{注1)}を行なうとともに、食生活²⁾、衣生活³⁾、消費生活分野⁴⁾などを中心に授業研究に取り組んできた。平成24年度には、小学生と中学生が調理実習を合同学習で行い、中学生が小学生にアドバイスする姿がみられただけでなく、中学生自身も調理の基礎的な内容をもう一度見つめ直す必要があることに気づく等の有効性が示された⁵⁾。

しかし、合同学習を実施するためには、小・中学校双方の時間割を合わせるとともに、教員間の十分な打ち合わせの時間も確保する必要がある。両附属学校や小中一貫校のように校舎が隣接している、あるいは同じ敷地内に校舎があるような場合には、合同学習を比較的实施しやすい環境にあるといえるが、分離型の小学校と中学校においても学び合いは重要であり、その機会を設定していくことも必要と考えられた。

そこで本研究では、時間・空間を共にすることが困難な場合であっても、小・中学生の相互の学び合いや交流を促す方法として、中学生が小学生の製作に関するアドバイスを行なう活動を取り入れた授業を計画・試行することによって、小中連携の新しい在り方について検討し、課題を明らかにしていくことを目的とする。

*¹ 宮崎大学教育学部附属中学校 *² 宮崎大学教育学部附属小学校
*³ 宮崎大学大学院教育学研究科 *⁴ 宮崎県立都農高等学校 *⁵ 宮崎大学教育学部

II. 研究方法

小学校6年生の題材「生活に役立つものを作ろう」(全8時間)において製作過程にあった作品(ミシン縫いによるバック)に対して、中学生がアドバイスを行なう中学校家庭科の授業を平成29年3月2日に実施した。題材は、「自分らしく・快適に着る」(全13時間)であり、その学習のまとめとして、アドバイス活動を導入した授業を行なった(表1)。

表1 題材の指導計画(全13時間)

	学習内容	目 標
第一次 (2)	日常着の活用 ①衣服のはたらき・自分らしく目的に合わせた着方(1) ②衣服の活用と選び方(1)	①・衣服の社会生活上のはたらきについてまとめることができる。 ・目的にあわせた衣服を選んだり、自分らしい着方を考えたりできる。 ②・衣服の計画的な活用について考えることができる。 ・既製服を選ぶポイント、サイズや取扱い表示の見方を理解し、衣服の適切な選択ができる。
第二次 (4)	日常着の手入れ ①汚れと手入れ(1) ②手入れと表示・衣服の洗濯(1) ③衣服の補修とアイロンかけ(2)	①・衣服につく汚れやしみの種類と性質を理解して、手入れや保管の仕方を考えることができる。 ②・衣服素材に適した手入れの必要性を理解して、適切な手入れ方法を選択できる。 ・取扱い絵表示を参考にして、素材にあった洗剤とその量を選び、洗濯機で洗濯することができる。 ③・衣服の状態に適した方法で補修ができる。 ・アイロンを安全にを使って衣服の手入れができる。
第三次 (1)	環境に配慮した衣生活	・環境に配慮した具体的な衣生活について関心をもち、工夫することができる
第四次 (5)	布を用いた物の製作 ブックカバーの製作	・自分や家族の生活を豊かにするものを考えることができる。 ・製作計画を立て、必要な材料や用具について考えることができる。 ・安全に留意して、製作を行うことができる。 ・完成した作品について自己評価や相互評価をすることができる
第五次 (1)	学習のまとめ 小学生の作品へのアドバイス	・小学生が製作した小物について、良い点や改善点を見つけ、グループで話し合うことができる。 ・小学生の作品やグループでの話し合い活動から気づいたことを今後の自分の生活に生かすことができる。

本研究では、中学校2年生（4クラス150名）がワークシートおよびアドバイス用紙に記述した内容や活動状況等について分析を行なった。また、そのアドバイス用紙を小学生に作品とともに渡し、そこでの小学生の学びについても検討を行なった。そしてそれらの結果をふまえて、アドバイス活動を導入した小中連携授業の成果と課題について考察した。

本時の授業概要は以下の通りである。

表2 本時の学習指導

①目標

- ・小学生が製作した小物について、良い点や改善点を見つけ、グループで話し合うことができる
- ・小学生の作品やグループでの話し合い活動から気づいたことを今後の自分の生活に生かすことができる

②学習指導過程

学習内容及び活動	教師の支援
1 小学校の時の取り組みを振り返る	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校時代に製作したものについて想起させる場を設定する。 ・小学生のときに裁縫の学習でできるようになったことや難しかったことを想起させ、本時の授業への関心を高める。
2 本時の目標を確認する 小学生の作品にアドバイスをを行い、自分の技能の向上に生かそう	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習への関心を高め、見通しをもたせるために、本時の目標を確認する場を設定する。
3 製作に必要な道具やミシンの扱い方について振り返る	<ul style="list-style-type: none"> ・ミシン縫いの手順や調子よく縫えない時の原因と対処法など小学校での学習を振り返る場を設定する。 ・まち針やアイロンなどの用具の使い方についても確認する。
4 小学生の作品の良い点や改善点について個人で考えをまとめる	<ul style="list-style-type: none"> ・各グループに製作途中の小学生の作品を1点ずつ配付する。 ・作品の良い点（青色）と改善点（赤色）を付箋紙に個人で記入する。
5 個人の考えをもとにグループで話し合う	<ul style="list-style-type: none"> ・付箋紙を使って、グループで意見交換を行う。 ・小学生が作品を完成させようという意欲につながるように称賛の言葉も記入するよう促す。 ・個人の同じような意見については、1つにまとめ、アドバイスが見やすいように記入させる。
6 被服製作におけるポイントをまとめる	<ul style="list-style-type: none"> ・被服製作におけるポイント等についてまとめ、今後の学習に生かせるようにする。 ・グループは4人で構成し、グループでA4用紙1枚にまとめる。 ・本時の実習の取組について反省を自己評価表に記入させる。
7 本時のまとめを聞く。	<ul style="list-style-type: none"> ・次時の学習内容を知らせる。

Ⅲ. 研究の成果と課題

1. 小学校での学びの振り返りとアドバイス活動

授業では小学生へのアドバイスをする前に、中学生にまず、自分の「小学校でのミシン学習」について、ワークシートに記入させつつ振り返らせていた。“製作した物”やその学習によって自分が今“できること”だけでなく、教師は“難しかったこと”にも目を向けるよう促していた。中学生は例えば「ミシンに糸をセットすること」や「まっすぐ縫うこと」、「返しぬい」などが難しかったとしている。それらの振り返りにより、中学生は、小学生の製作状況を他人事ではなく自分にも共通する問題として意識しつつ、身近に引き寄せて、アドバイスすることが可能になったのではなかろうか。

授業では、小学生の製作途中のバッグ10点を中学生の10班各々に配布した上で、教師は2色の付箋紙を渡し、青色の付箋紙に「良い点」を、赤色に「改善点」を書くよう指示した。中学生はバッグを手に取りながらまず個人で付箋紙にコメントを記入し、その後、班ごとにアドバイス用紙（A3大）にまとめていった。アドバイス用紙の例を写真①②に、また各班の記述内容を表3に示す。

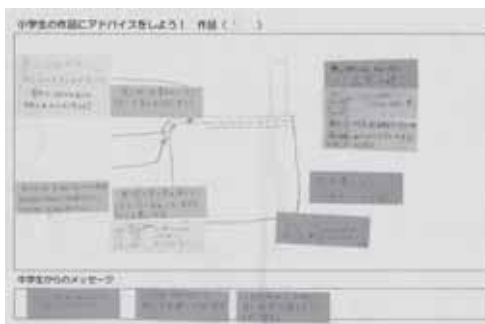
(1) 建設的なアドバイスと賞賛

どの班でもアドバイス用紙にバッグを図示し、そこに各自が記入したコメント（付箋紙）を貼ってまとめていた。

表3に示したように、赤色の付箋紙の「改善点」では、下線（直線）のように問題点の指摘だけにとどまらず、どのように改善すればよいかその方向性まで示したコメントが多数、貼付されていた。例えば、表中の下線部「上糸の調子が強いから、ダイヤルの数字を小さくするといいと思うよ！」（3班）では、単に糸調子がよくないことを指摘するだけではなく、どのように調整すればよいか示している。8班でも「ふくろの両端が1回しかぬっていないため、重い物をいれたりすると、すぐにやぶれてしまうかもしれないから、2回ぬって、強度を強くするべき。」と、10班でも「まっすぐにぬえてない → チャコペンにそってぬえばいいと思う。」とアドバイスしていた。また、写真①（3班）の左上にある「ひもの付ける位置をもう少し中央から付けるといいと思う。」というアドバイスのように、付箋紙上にその違いを図示しながら、具体的にアドバイスをを行なうものも見られた。



写真① アドバイス用紙の例（3班）



写真② アドバイス用紙の例（5班）

表3 コメントの内容

班	改善点 (赤色)	良い点 (青色)
1	<ul style="list-style-type: none"> 返しぬいをちゃんとした方がいいと思うよ! 途中で糸が切れている ココらへん かたまりになってしまうので、色は短くした方がいいよ! チャコペンを使ってまっすぐぬった方がいいよ! 布の色と糸の色を統一した方がいいよ! ボタンをデザインとしてつけてみたり、ワッペンとかつけてみたらおもしろいよ!! 玉どめができていないので針に糸を2~3回まきつけて、そこを指でささえて、針をひきぬくと良いと思う。 糸の処理をした方がいいと思うよ!! → コレ 	
2	<ul style="list-style-type: none"> ココをもっと大きくした方がいいよになる目。 とつては、がらがらおもてになった方がゆわいよ!! とつてのぬい目が自立しすぎているので、返しぬいを減らした方がいいと思う。 まっすぐとぬえていないので、ぬのと体をしっかりとまっすぐに保ってぬうとよいと思う。 糸の色を変えたらもっと良くなるよ! 同じ布をおり返したいので、上糸と下糸が違っていて、目立つため、統一させたほうがいいです! 	<ul style="list-style-type: none"> 大きさがちょうど良い。 すぐに型がくずれずよくぬえているね! 角がしっかり出ていて良いね! かえしぬいがバッチリ!
3	<ul style="list-style-type: none"> ひものつけ方が強いから、×バツテンに縫うといいよ! ひもの長さが違うから合わせた方がいいよ! 玉どめされていない所があるからとめた方が、がんじょうになると思うよ! ひもの付ける位置をもう少し中央から付けるといいと思う。 ぬい目の間隔がくらくらついているから均等にしたら方がいいよ 上糸の調節が強いから、ダイヤルの数字を小さくするといいと思うよ! 糸の縫い目がなまなめになっているから、まっすぐにしたらほうがもっと良くなるよ (糸)糸が出てしまってます… 残った糸は切っておかないとからまって大変ですよ…!! ひもを付ける時、3つ折りの布をかんづうしているの、2折りや1折りの所まですると、見た目もきれいになり、いいと思います。 内側の横面からわたがでしてしまっているのでも本のようにぬってとめるといいと思います。!こんなかんじ 	<ul style="list-style-type: none"> 布に対して、目立たない色で布を縫って good! 表側の端っかがちゃんと曲がっていたのすごい! 横の部分のがんじょうにぬうことができて上手だね きじも良いし、ぬい目も広すぎずいいね、ちゃんと完成すれば長く使えるぞうだね!!すごい!!
4	<ul style="list-style-type: none"> バックにするんだったら、もっと太く縫うといいと思う。 表に出ている黒の糸が少し目立っています。 ～折り方～ 先の方までいぬいに。 裏をみてみると、ミンシンの縫い目が?重なっていたからちゃんとしつけて、一発で「バツッ」と縫えるようにしよう! 布が目立っている所があるから、「おさえ」でちゃんと縫った方がいいと思う 糸が出てきているから、切った方がいいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 表から見て、横の縫い目が見えなく、きれいだと思う。 玉結び、玉どめがうまい ☆ ミンシンの「おさえ」が凄く上手!! 形がきれい
5	<ul style="list-style-type: none"> 黒じゃなくて布と似た色の方が良いよ。 一箇所11回だけぬえば、見栄えがよくなると思うよ! 返しぬいを重ねると、少しきれいに見えます! 布の色と糸の色を同じにしたら、少しずれても、目立たないと思います。 ～ここがふくらんでいたの、すこしきつてみると良い。 	<ul style="list-style-type: none"> 横の部分のぬい方が(色も)上手だね! ～ここミンシンの目がとてもきれい! 横がしっかりまっすぐ縫えていていい!返し縫いがしっかりできていて、丈夫になっていると思う。 形が整ってて、きれいで! しっかりとがががががががががが!!ななめでない ☆☆
6	<ul style="list-style-type: none"> ぬい目がなまなめにならないようにした方がいいよ! ぬい端が雑々だから送り調整ダイヤルに気をつけてた方がいいよ 指とこまをつける糸は水色ではなくピンクにした方がいいよ! もち手は、上の方もつけた方がいいよ! チャコペンの線が消えていないから、そこを消すと良いと思う。 まっすぐ折った方がきれいになると思います(布) しっかりと玉どめができていければもっといいと思います。(それが切ったら) 出てる糸を切るなどしたらいいと思う 	<ul style="list-style-type: none"> 布の運び方が良いね!持ち手のひもの色も布の色に合っていると 思う! 端の方がとてもまっすぐぬえていてきれい!! かどがちゃんと裏がえっていて、固く補強されているから、使いやすいぞう!! 角がしっかり出ていて形がきれい!!
7	<ul style="list-style-type: none"> ぬいしろが大きい ほつれた糸を切ったほうがよいと思うよ! 返しぬいに気を付けて、糸がほつれているからそこを切り、バックにするならもっとしっかりする方がよいと思う。 ぬいおわりで糸がビヨンとびだしている。ほつれる原因になるから、きちんとしまつしよう。 ①布はして上糸と下糸を結ぶ ②下糸を引き出して上糸と結ぶ 指が入る程度の穴があるので、小さく縫いものが入らないようにもちょっと先まで縫った方がいい ほつれた糸は切っても、またほつれるので、糸が出ている側をでいようにぬうといいよ。 わたや糸が出ている所をこういう風にがりがりぬいとす!!! ほつれている所があるけれど(たたくさん)切ったらよけいひどくなるので、布自体を少し切ってからもう一回ぬってみよう! 物を出すときにひっかかるから、手ぬいで指が入らないくらい細かくがりがりぬいをした方がいい。 激しくほつれている方はいったん裁ちばさみでまっすぐきつてから同じようにかがりがりぬいをした方がいい。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体的にとても上手い 糸のぬい方はとても丁寧だから続けろ! 外見はお店に売ってそう! 完成まであと少し、ずっと使えるように丈夫なものを作ろうね、がんばれ……
8	<ul style="list-style-type: none"> 裏にでるところのぬい目は、もう少しきれいに仕上げたら良いと思う。 ふくろの両側が、しっかりぬい終わっていないから、ぬいおわりのぬいは、①後ろに引っぱり、②カッターで切るべき。 ふくろの両端が1回かかぬえていないため、重い物をいれたりすると、すぐにやぶれてしまうかもしれないから、2回ぬって、強度を強くするべき。 糸の始末をもっときれいにしたら良いと思う。じやないほつれてしまう。 端の方が縫っていないので、もしかしたら、小さいものを入れた時に落ちてしまうかも…。 	<ul style="list-style-type: none"> あるていどまっすぐにぬえている。 まっすぐぬえているので、しっかりと手をそえてぬえている事が分かって、とても良いです! ちょうどよい大きさで、布の色もたたくの場面でも使えるぞう!返し縫いをして丈夫! まっすぐ、きれいにぬえている。 ふちが末末にできていて、パツとて色々な場面でも安心して使えるよ。
9	<ul style="list-style-type: none"> ぬい目がずれているので、布をよくぬえてももっともっと良くなるよ! ときどき なまなめになるので気をつけよう! 	<ul style="list-style-type: none"> 返しぬいが上手 すごいです! 余計な糸くずや縫い間違いないため、全体的にきれいです! きれいに裏が縫えていて良いです! 左右は上手く縫えているね! 角がキレイに出せていてスコイ! 布地に合った色の糸を選んでいるのでキレイ ☆☆
10	<ul style="list-style-type: none"> 玉結び、玉どめた周辺 端からとびだしている糸を切るのいい。 角がちゃんとぬえていないので、返しぬいをした方がいいです。 まっすぐにぬえてない → チャコペンをそってぬえたいと思う。 糸を自立たない色にした方がいいと思う。 上糸の調節が強い状態、上糸調節ダイヤルの数字を小さくしよう。 横がほつれているから、見本をつかったのでさくこうにしてね! 	<ul style="list-style-type: none"> 返しぬいがしっかりできていて、いいと思います。 角がしっかりとぬえている。ぬい目がまっすぐでいい。返しぬいがいい。 ぬい目がそろってる 真っすぐぬえていて、きれいです。

他方、「良い点」として青色の付箋紙に記された内容には、波線の「糸のぬい方はとても丁寧いだから続けてね！」(7班)のような励ましや賞賛に加えて、「しっかりとがってすごいい!!ななめてない ☆☆」(5班)や「返しぬいが上手 すごいです↑」(9班)といった共感のコメントも多く見られた。

そのような建設的なアドバイスや励まし・共感のコメントが数多く記された背景には教師の働きかけもあるものの、前述の自分が小学校の頃の製作において、何を難しいと感じていたのか振り返ったことが少なからず影響していたと考えられる。

(2) 活動への意欲的な取り組み

中学生が小学生の作品を観察し、アドバイス用紙にまとめていく様子を写真③④に示した。各班においては、写真③のように作品を手にとってじっくり観察していたが、付箋紙にコメントを記入するだけでなく、写真④のように自ら端切れを使って見本を作成し、アドバイス用紙に貼り付けて、具体的にどのように縫えばよいか小学生に提示しようとする姿もみられた(その貼付した例が前述の写真①)。端切れは生徒の方から教師に「実際に縫った方が分かりやすいと思うので縫いたいのですが、何か布はありませんか」と、要求されたものであった。この班の他にも、表3に網掛けで示したコメントとともに1、2、3、7、10班でそのような自発的な見本づくりが行なわれ、アドバイス用紙にそれらが貼付されており、中学生が意欲的にアドバイス活動に取り組んでいた様子がわかる。

これらを通して、小学生は中学生の意欲的なアドバイス活動の姿に触れることができ、貼ってある見本を観察することで図示よりもっと具体的に改善方法を理解することができたと考えられる。

(3) 小・中学生と教師の関係性

中学生は、前掲の写真①に見られるように絵文字や挿絵を多用しながらコメントしたり、表3に破線で示したコメントのように、例えば2班の「とっては、がらがおてになった方がかわいいよー♡♡♡」など、教師と比べて、くだけた表現や口調など小学生に合わせた声の掛け方や言葉遣いでコメントしている。これらのコメントを通して小学生は中学生に親近感を持ったことが推察され、親密な他者⁶⁾として中学生が小学生に寄り添い、共に製作に向かう可能性も開かれるだろう。

他方、中学生にとっては、これまで教師から製作について教えられる立場であったのに対して、今回のアドバイス活動は自分が学んできたことを小学生に教える立場に立つという意味合いを持つものであり、中学生の自己肯定感にもつながっていくと考えられる。

(4) 見通しの提示

さらに中学生のコメントの中には、表3に点線で示したように、「きじも良いし、ぬい目も広すぎずいいね。ちゃんと完成すれば長く使えそうですね…!!すごい!!」(3班)や「完成まであと少し!ずっと使えるように丈夫なものを作ってね。がんばれ」(7班)、「ふちが丈夫にできていて、バッグとして色々な場面で安心して使える!」(8班)といった有用性についての見通しや先を見通した励ましなどを記していた。これはすでに製作を経験した中学生からのコメントとして、小学生の意欲の喚起につながるだけでなく、小学生に製作や作品の活用に対す

る見通しを持たせることができるであろう。



写真③ 作品を手に取りながら観察



写真④ 見本の製作

2. 今後の自己の製作に向けて

中学生は、小学生へのアドバイス用紙を作成した後、これから自分がミシンを用いて製作を行う際のポイントを班ごとにワークシートにまとめていった。その様子を写真⑤に、まとめた内容を写真⑥に示した。

中学生は写真⑤のように、ミシンの使い方の復習を教科書で行うだけでなく、実際にミシンを自ら机の上に出して来て、糸の通し方やミシン各部の名称などを確認するなど主体的に取り組んでいた。小学生に“ミシンを使った製作について教える”ことを想定したアドバイス活動が、単に教科書に載っている内容を知識として知っているというだけでなく、ミシンの扱いにも慣れ、ミシンを操作できるようになっておきたいという意欲も高めたと考えられた。

また、アドバイス活動において小学生に「返しぬいに気をつけて！」(表6中の囲み部分)と、ミシンの返し縫いについてコメントしていた7班は、写真⑥に例示したように、今後の製作に向けたワークシートのまとめにおいても、ミシンの取り扱い方のポイントを示すだけでなく返し縫いについても触れており、アドバイスの内容と連動していることが見て取れた。

3. 小学生の製作への影響

中学生の授業終了後、製作途中であった作品の各々にアドバイス用紙を添えて小学生に返した。なお、製作上の改善点というより作品への否定的な内容が書かれているコメントに関しては、教師が意図的に付箋紙を外して渡していた。

アドバイス用紙を受け取った小学生は、アドバイスに対する感謝やその内容が参考になったことに言及していた。またそれだけでなく中学生が示してくれたアドバイスに基づいて改善しようとする姿も見られた。例えば、前述の写真①の付箋紙上に図示されたアドバイス(「ひもの付ける位置をもう少し中央から付けるといいと思う。」)にしたがって、ひもの付け直していた小学生もいた。

中学生のアドバイスが小学生の製作に対する意欲や技能に影響していたといえよう。



写真⑤ ミシンを扱いながら確認



写真⑥ 今後に向けて

IV.まとめと課題

以上、アドバイス活動を被服製作学習に導入したことによって、小学生は中学生から具体的な製作方法を示してもらい、意欲や技能の向上が期待できるとともに、その後の製作や有用性について見通しを持つことが可能になった。

他方、中学生も教師から教えてもらうという立場を変え、自分の製作を振り返りつつ自己に引き寄せながら小学生へのアドバイスを行なうことで、今後の製作活動に向けたまとめの学習にも意欲的に取り組んでいた。

合同調理の場合は、中学生が直接、調理操作を実演して見せていたのに対して、今回は間接的ではあったが、アドバイス用紙の作成や見本を作って伝えるという形で、中学生は小学生に主体的に関わろうとしていた。さらにアドバイス用紙を媒介として、その後の製作や作品活用の見通しについて中学生が言及したことは、小学校の学びが中学校につながっているということも小学生に意識させるきっかけにもなったであろう。今回のアドバイス活動の導入は、合同調理のように小・中学生が時間・空間を共有した授業ではなかったが、連携による効果を期待できるといえよう。

その一方で、中学生のアドバイスの妥当性の吟味や否定的なコメントへの対応などについては、さらに検討が必要である。今回のアドバイス活動では、中学生が自由に気づいたことをコメントしていったが、そのコメントが必ずしも適切・妥当であるとは限らない。小学生の作品

に対する否定的なコメントや適切ではないコメントは、今回、教師の方で外した上でアドバイス用紙を小学生に渡していた。教師がチェックを入れる場合もあるだろうが、教師によるチェックよりも、むしろ中学生同士がコメントの付箋紙を貼る際に、班内でそれらが妥当であるのか相互に吟味し合うことが重要と考える。コメントに関連した調べ学習をさらに行ない、自分たちでコメントの適切さについて検討することは、中学生にとっての学びも深めるのではなかろうか。本研究では、小・中学生間の学び合いに着目したが、中学生がグループ活動として、小学生の作品について共にアドバイスを考えるということは、中学生にとっても自分では気づかなかった他者の評価視点に触れる機会となり、中学生間での相互作用の場ともなるだろう。そのような場を意図的に設定していくことは重要と考える。

他方、今回のアドバイス活動は、小学生がバッグの製作を進め、作品完成が近い時期での実施となった。しかし、アドバイスを活かした改善をより行いやすくするためには、時期を相互に調整しつつ早めに設定した方が有効であろう。また、今回はアドバイスをもらった小学生の様子は教師から中学生に伝えられたが、授業の中でそれをフィードバックすることはできなかった。小・中学校が連携した年間計画を作成するとともに、実施過程における双方の時期的なズレの調整も今後の課題といえる。

【注記】

注1) 小・中学校ごとの各分野における題材配列については、付記「表4～13」参照のこと

【引用・参考文献】

- 1) 中央教育審議会「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）」平成28年12月、p18.
- 2) 福良維素子、川崎夕子、平川祐子、岩見ミカ、篠原久枝、伊波富久美. 家庭科教育における小・中連携の授業実践—合同授業による調理実習の検討—. 宮崎大学教育文化学部紀要教育科学第29号, pp.1-10. 2013
- 3) 福良維素子、川崎夕子、前村育実、岩見ミカ、岡村好美、篠原久枝、堀江さおり、伊波富久美. 小・中連携による5年間を見通した家庭科の授業計画—中学校の被服領域を中心に—. 宮崎大学教育文化学部紀要 創立130周年記念特別号, pp.173-185. 2015.
- 4) 伊波富久美、川崎 夕子、福良維素子、平川祐子、岩見ミカ、篠原久枝、堀江さおり. 小・中連携をめざした家庭科授業の構想—「物や金銭の使い方」に関する授業実践をふまえて—. 宮崎大学教育文化学部協働開発センター研究紀要 第24号, pp.77-87.
- 5) 前掲書 4)
- 6) 佐伯 胖. (1995). 「学ぶ」ということの意味. 東京：岩波書店

表5: 中学校:「A 家族・家庭と子どもの成長」

題材名		わたしの成長と家族	わたしたちと家族・家族と地域	家族・家庭と子どもの成長	幼児とふれ合い	これからのわたしと家族	⑥: 重点的に扱う内容	
時数	A(1)ア A(2)ア イ A(3)ア イ ウ エ	◎ ○ ○ ◎ ◎ ○	○ ◎ ○ ◎ ◎ ○	◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎	◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎	◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎	○ ○ ○ ○ ○ ○	
指導内容	ガイダンス 自分の成長を振り返る(自分受つくり) 自分の成長と家族と地域の人とのつながり 自分の成長と家族と地域の人とのつながり 自分の成長と家族と地域の人とのつながり 自分の成長と家族と地域の人とのつながり	家族のほたけ 家庭を学ぶとは 地域のつながり 自分の成長と家族と地域の人とのつながり	自分の成長を振り返る(自分受つくり) 自分の成長と家族と地域の人とのつながり 自分の成長と家族と地域の人とのつながり 自分の成長と家族と地域の人とのつながり	自分の成長を振り返る(自分受つくり) 自分の成長と家族と地域の人とのつながり 自分の成長と家族と地域の人とのつながり 自分の成長と家族と地域の人とのつながり	自分の成長を振り返る(自分受つくり) 自分の成長と家族と地域の人とのつながり 自分の成長と家族と地域の人とのつながり 自分の成長と家族と地域の人とのつながり	自分の成長を振り返る(自分受つくり) 自分の成長と家族と地域の人とのつながり 自分の成長と家族と地域の人とのつながり 自分の成長と家族と地域の人とのつながり	自分の成長を振り返る(自分受つくり) 自分の成長と家族と地域の人とのつながり 自分の成長と家族と地域の人とのつながり 自分の成長と家族と地域の人とのつながり	○ ○ ○ ○ ○ ○
学習内容	自分の成長を振り返る(自分受つくり) 自分の成長と家族と地域の人とのつながり 自分の成長と家族と地域の人とのつながり 自分の成長と家族と地域の人とのつながり	家族のほたけ 家庭を学ぶとは 地域のつながり 自分の成長と家族と地域の人とのつながり	自分の成長を振り返る(自分受つくり) 自分の成長と家族と地域の人とのつながり 自分の成長と家族と地域の人とのつながり 自分の成長と家族と地域の人とのつながり	自分の成長を振り返る(自分受つくり) 自分の成長と家族と地域の人とのつながり 自分の成長と家族と地域の人とのつながり 自分の成長と家族と地域の人とのつながり	自分の成長を振り返る(自分受つくり) 自分の成長と家族と地域の人とのつながり 自分の成長と家族と地域の人とのつながり 自分の成長と家族と地域の人とのつながり	自分の成長を振り返る(自分受つくり) 自分の成長と家族と地域の人とのつながり 自分の成長と家族と地域の人とのつながり 自分の成長と家族と地域の人とのつながり	自分の成長を振り返る(自分受つくり) 自分の成長と家族と地域の人とのつながり 自分の成長と家族と地域の人とのつながり 自分の成長と家族と地域の人とのつながり	○ ○ ○ ○ ○ ○
実習・実験の題材	自分の成長を振り返る(自分受つくり) 自分の成長と家族と地域の人とのつながり 自分の成長と家族と地域の人とのつながり 自分の成長と家族と地域の人とのつながり	家族のほたけ 家庭を学ぶとは 地域のつながり 自分の成長と家族と地域の人とのつながり	自分の成長を振り返る(自分受つくり) 自分の成長と家族と地域の人とのつながり 自分の成長と家族と地域の人とのつながり 自分の成長と家族と地域の人とのつながり	自分の成長を振り返る(自分受つくり) 自分の成長と家族と地域の人とのつながり 自分の成長と家族と地域の人とのつながり 自分の成長と家族と地域の人とのつながり	自分の成長を振り返る(自分受つくり) 自分の成長と家族と地域の人とのつながり 自分の成長と家族と地域の人とのつながり 自分の成長と家族と地域の人とのつながり	自分の成長を振り返る(自分受つくり) 自分の成長と家族と地域の人とのつながり 自分の成長と家族と地域の人とのつながり 自分の成長と家族と地域の人とのつながり	自分の成長を振り返る(自分受つくり) 自分の成長と家族と地域の人とのつながり 自分の成長と家族と地域の人とのつながり 自分の成長と家族と地域の人とのつながり	○ ○ ○ ○ ○ ○
自分の成長	自分の成長を振り返る(自分受つくり) 自分の成長と家族と地域の人とのつながり 自分の成長と家族と地域の人とのつながり 自分の成長と家族と地域の人とのつながり	家族のほたけ 家庭を学ぶとは 地域のつながり 自分の成長と家族と地域の人とのつながり	自分の成長を振り返る(自分受つくり) 自分の成長と家族と地域の人とのつながり 自分の成長と家族と地域の人とのつながり 自分の成長と家族と地域の人とのつながり	自分の成長を振り返る(自分受つくり) 自分の成長と家族と地域の人とのつながり 自分の成長と家族と地域の人とのつながり 自分の成長と家族と地域の人とのつながり	自分の成長を振り返る(自分受つくり) 自分の成長と家族と地域の人とのつながり 自分の成長と家族と地域の人とのつながり 自分の成長と家族と地域の人とのつながり	自分の成長を振り返る(自分受つくり) 自分の成長と家族と地域の人とのつながり 自分の成長と家族と地域の人とのつながり 自分の成長と家族と地域の人とのつながり	自分の成長を振り返る(自分受つくり) 自分の成長と家族と地域の人とのつながり 自分の成長と家族と地域の人とのつながり 自分の成長と家族と地域の人とのつながり	○ ○ ○ ○ ○ ○
家族	家族のほたけ 家庭を学ぶとは 地域のつながり 自分の成長と家族と地域の人とのつながり	家族のほたけ 家庭を学ぶとは 地域のつながり 自分の成長と家族と地域の人とのつながり	自分の成長を振り返る(自分受つくり) 自分の成長と家族と地域の人とのつながり 自分の成長と家族と地域の人とのつながり 自分の成長と家族と地域の人とのつながり	自分の成長を振り返る(自分受つくり) 自分の成長と家族と地域の人とのつながり 自分の成長と家族と地域の人とのつながり 自分の成長と家族と地域の人とのつながり	自分の成長を振り返る(自分受つくり) 自分の成長と家族と地域の人とのつながり 自分の成長と家族と地域の人とのつながり 自分の成長と家族と地域の人とのつながり	自分の成長を振り返る(自分受つくり) 自分の成長と家族と地域の人とのつながり 自分の成長と家族と地域の人とのつながり 自分の成長と家族と地域の人とのつながり	自分の成長を振り返る(自分受つくり) 自分の成長と家族と地域の人とのつながり 自分の成長と家族と地域の人とのつながり 自分の成長と家族と地域の人とのつながり	○ ○ ○ ○ ○ ○

【付記】: 宮崎大学附属小学校および附属中学校の題材配列

学年	5 学年		6 学年	
	テーマ	よりよい生活をめざそう	生活を見直そう	よりよい生活をめざそう
題材名	自分の成長と家族 家族とのふれあ いをもちよう	よりよい生活に ついて考えよう	2時間	2時間
時数	A(1)ア A(2)ア イ A(3)ア イ 他の内容	◎ ◎ ◎ ◎ ◎	◎ ◎ ◎ ◎ ◎	◎ ◎ ◎ ◎ ◎
指導内容	自分の成長と家族 家族とのふれあ いをもちよう	よりよい生活に ついて考えよう	よりよい生活に ついて考えよう	よりよい生活に ついて考えよう
実習題材	・ 家族での仕事調 べ ・ 仕事の計画・実 践	・ 環境により生活 ごみの減量、買 い物袋、生ごみ は肥料、水や電 気の使い方	・ 生活時間の有 効な使い方	・ 地域の人、環境 とのつながり ・ 自分ができるこ と
家庭での仕事調 べ	◎			
自分の計画 の計画	◎			
家族のお茶の入れ方	◎			
家族の簡単なお菓子の 作り方	◎			
生活時間表	◎			
生活時間の表	◎			
時間の有効な使 い方	◎			
基礎的な知識	◎			
環境により生活 ごみの減量	◎			
買い物袋	◎			
生ごみは肥料に して活用	◎			
水の電気の使用 方法	◎			
自分のできるこ とを実践	◎			
実験報告	◎			

◎: 重点的に扱う内容

表 6：小学校：「B 日常の食事と調理の基礎」

学年	5 学年	6 学年
テーマ	おもしろく食べるには、どうしたらよいか。 自分でやってみよう	健康やくらしを考え、 生活を見直そう
題材名	自分でやってみよう	朝食に合うおかずを作ろう
時数	5時間	8時間
B(1)ア	○	◎
イ	○	○
B(2)ア	◎	◎
イ	◎	◎
ウ	○	◎
B(2)ア	◎	◎
イ	◎	◎
ウ	◎	◎
エ	◎	◎
オ	◎	◎
他の内容	A(1)ア(3)ア ・ ごはん ・ みそ汁	A(1)ア(3)ア ・ 1食分の食事 (ごはんごみそ汁 中心として)
実習題材と食品	・ ゆで卵 ・ おひたし ・ ゆで野菜	・ スクラッブル ・ エッグ
米	○	○
野菜	○	○
芋類	○	○
卵	○	○
大豆の加工品	○	○
肉・魚の加工品	○	○
海草類	○	○
身支度	◎	◎
調理	◎	◎
に	◎	◎
関	◎	◎
する	◎	◎
基	◎	◎
礎	◎	◎
的	◎	◎
な	◎	◎
知	◎	◎
識	◎	◎
技	◎	◎
能	◎	◎
量	◎	◎
分	◎	◎

*本資料は、前掲小学校教諭・川崎女子教諭が作成

表 7：中学校：「B 食生活と自立」

題材名	食生活と自立				生活の問題と実践	
	健康と食生活 8時間	食品の選択と保存 6時間	調理しよう 10時間	地域の食料と食文化 3時間	8時間	6時間
講義	◎	○	○	○	○	○
B(1)ア	◎	○	○	○	○	○
イ	◎	○	○	○	○	○
B(2)ア	◎	○	○	○	○	○
イ	◎	◎	◎	◎	◎	◎
B(3)ア	◎	◎	◎	◎	◎	◎
イ	◎	◎	◎	◎	◎	◎
ウ	◎	◎	◎	◎	◎	◎
学習内容	・ 健康的な食生活 ・ 栄養素と体の関係 ・ 中学生に必要な栄養素 ・ 食品の栄養成分 ・ 食品の安全と信頼 ・ 中学生の1日分の食生活	・ 生鮮食品の特徴と選び方 ・ 加工食品の特徴と選び方 ・ 加工食品の表示 ・ 食品の表示のしかた ・ 食品の安全と信頼 ・ 食品の表示の読み方	・ 調理の手順 ・ 調理器具の使い方 ・ 調理器具の清掃 ・ 調理器具の消毒 ・ 調理器具の保管	・ 地域の食料と食文化 ・ 伝統的食文化 ・ 食文化の継承 ・ 食文化の創造	・ 調理の手順 ・ 調理器具の使い方 ・ 調理器具の清掃 ・ 調理器具の消毒 ・ 調理器具の保管	・ 生活の問題と実践 ・ 食生活の改善 ・ 食生活の向上
実習・実践の題材	・ 食品の表示の読み方 ・ 食品の表示の読み方 ・ 食品の表示の読み方 ・ 食品の表示の読み方	・ 食品の表示の読み方 ・ 食品の表示の読み方 ・ 食品の表示の読み方 ・ 食品の表示の読み方	・ 調理の手順 ・ 調理器具の使い方 ・ 調理器具の清掃 ・ 調理器具の消毒 ・ 調理器具の保管	・ 地域の食料と食文化 ・ 伝統的食文化 ・ 食文化の継承 ・ 食文化の創造	・ 調理の手順 ・ 調理器具の使い方 ・ 調理器具の清掃 ・ 調理器具の消毒 ・ 調理器具の保管	・ 生活の問題と実践 ・ 食生活の改善 ・ 食生活の向上

◎：重点的に扱う内容

表10：小学校：「快適な衣服と住まい（住）」

学 年	5 年生	6 年生
テーマ	健康を考えた生活をしよう	きれいにしようクレーン作戦
題材名	身の回りを整えよう	暑い季節を快適に過ごそう
時 数	3時間	4時間
指 導	C(1) ア イ C(2) ア イ C(3) ア イ	◎ ◎
内 容		
ウ		
他の内容	D(2)ア ・引き出しの整理整頓 ・衣服の整理整頓	D(2)ア ・暑い季節の衣服 ・洗たく
学習内容	D(2)ア ・明るくあたたかく住まう工夫	D(2)ア ・汚れに合わせた清掃
実習題材		
	◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎	◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎
	整理整頓の計画 分類の工夫 しまい方の工夫 整理整頓の工夫 身の周りの汚れ調べる に 用具の工夫 洗剤の工夫 汚れに合わせた消菌の仕方 不用品の活用 ごみの処理 的 いるいるな場所の明るさ、おたかさを調べる 識 探光 ・ 照明 効率的で安全な 暖房器具の利用 いろいろな場所 のすすし、風通しを調べる 風通し 打ち水 植物を利用して熱をささげる 効率的なエネルギー の利用	

表11：中学校：「新生活・住生活と自立」（住生活）

題材名	快適に住まう			住生活の課題と実践
	住まいのはたらき	安全な住まい	快適な住まい	
時数	2時間	3時間	3時間	3時間
C(1)ア				
イ				
ウ				
C(2)ア	◎			◎
イ		◎		◎
C(3)ア				◎
ウ				◎
学習内容	・住まいのさまざまな役割 ・共に住まう	・住まいの安全対策 ・災害への備え	・室内の空気調節 ・住まいと音	・住生活についての課題と実践
実習・実験の題材	・機械家族での間取りの検討	・住まいの安全チェック ・防災マップ ・災害時チェックリスト	・空気の手拭い具合の測定 ・除湿計を使って日常の音を測定 ・機嫌家族を想定した快適な住まい	・家族のための我が家の防災マップ作成
住まいの役割	◎			◎
住まいに必要な空間	◎			◎
部屋の使い方	◎			◎
住まいの空間の使い方	◎			◎
和室の特徴	◎			◎
洋室の特徴	◎			◎
家庭内の事故の種類と原因	◎			◎
住まいの安全対策	◎			◎
ハリアフリー		◎		◎
ユニバーサルデザイン		◎		◎
住まいと自然災害		◎		◎
自然災害と安全対策		◎		◎
住まいの地震対策		◎		◎
火災への備え		◎		◎
住まいの防災対策		◎		◎
室内空気の汚染			◎	◎
空気汚染の原因と健康被害			◎	◎
空気調節の方法			◎	◎
結露・かびを防ぐ方法			◎	◎
シックハウス症候群				◎
生活騒音の種類と問題点				◎
適切な防音対策				◎

◎：重点的に扱う内容

表13:中学校:「D 身近な消費生活と環境」

題材名	家庭生活と消費			家庭生活と環境
	1時間	2時間	3時間	
時数	◎			◎
	◎			
指導内容	D(1)ア	◎	◎	◎
	イ	◎	◎	
学習内容	D(2)ア	◎	◎	◎
	イ	◎	◎	
実習・実験の題材	◎	◎	◎	◎
	◎	◎	◎	
消費生活に関する基礎的な知識・技能	◎	◎	◎	◎
	◎	◎	◎	
消費者教育に関する基礎的な知識・技能	◎	◎	◎	◎
	◎	◎	◎	
収入支出	◎	◎	◎	◎
	◎	◎	◎	
買い物メモ	◎	◎	◎	◎
	◎	◎	◎	
予算	◎	◎	◎	◎
	◎	◎	◎	
領収書	◎	◎	◎	◎
	◎	◎	◎	
消費期限	◎	◎	◎	◎
	◎	◎	◎	
品質表示	◎	◎	◎	◎
	◎	◎	◎	
JASマーク	◎	◎	◎	◎
	◎	◎	◎	
エスジーマーク	◎	◎	◎	◎
	◎	◎	◎	
通信販売	◎	◎	◎	◎
	◎	◎	◎	
プリペイドカード	◎	◎	◎	◎
	◎	◎	◎	
金券	◎	◎	◎	◎
	◎	◎	◎	
備前	◎	◎	◎	◎
	◎	◎	◎	
情報	◎	◎	◎	◎
	◎	◎	◎	
計画的な購入の仕方	◎	◎	◎	◎
	◎	◎	◎	
備前	◎	◎	◎	◎
	◎	◎	◎	
品質	◎	◎	◎	◎
	◎	◎	◎	
環境で使われるエネルギー	◎	◎	◎	◎
	◎	◎	◎	
エネルギー節約の手立て	◎	◎	◎	◎
	◎	◎	◎	
ゴミの減量化	◎	◎	◎	◎
	◎	◎	◎	
容器包装リサイクル法	◎	◎	◎	◎
	◎	◎	◎	
5R	◎	◎	◎	◎
	◎	◎	◎	
持続可能な社会	◎	◎	◎	◎
	◎	◎	◎	
循環型社会	◎	◎	◎	◎
	◎	◎	◎	

表12:小学校:「D 身近な消費生活と環境」

学年	5 学年
テーマ	消費者教育
題材名	物や金銭の使い方を考えよう
目標	身近な買い物を通して、金銭や物の使い方を考え、工夫して計画的に使うことができるようにする。
時数	4時間
D(1)ア	◎
イ	◎
D(2)ア	◎
イ	◎
学習内容	衣服を購入する際に気を付けること ・ サイズ ・ 取り扱い方 ・ 素材 ・ 色や形 ・ 着やすさ
学習内容	食品を購入する際に気を付けること ・ 表示 ・ 新鮮さ ・ 分量
学習内容	収入
学習内容	支出
学習内容	買い物メモ
学習内容	予算
学習内容	領収書
学習内容	消費期限
学習内容	品質表示
学習内容	JASマーク
学習内容	エスジーマーク
学習内容	通信販売
学習内容	プリペイドカード
学習内容	金券
学習内容	備前
学習内容	情報
学習内容	計画的な購入の仕方
学習内容	備前
学習内容	品質
学習内容	環境で使われるエネルギー
学習内容	エネルギー節約の手立て
学習内容	ゴミの減量化
学習内容	容器包装リサイクル法
学習内容	5R
学習内容	持続可能な社会
学習内容	循環型社会

*本資料は、前附録の小学校教諭・川崎夕子教諭が作成

◎:重点的に扱う内容